

## 令和4年度 医療従事者の負担軽減及び処遇改善に資する計画

### 1 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

#### ア 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

項目	列1	具体的な取組み内容（業務）	列2	対象（職種）	見込件数（軽減時間）	担当部署
初診時の予診の実施	継続的な取組	問診票の取得		外来医師	20,000/件（年間）1,000時間/ 年間 ※1件3分間として	医事課
	継続的な取組	外来診察待ち患者のトリアージ（初診および発熱外来）		外来医師・看護師	初診 3分 * 10人 * 242日 = 121h 発熱外来 5分 * 15人 * 242日 = 302 h	看護部
	継続的な取組	発熱外来カルテ搬送および検査オーダー入力		外来看護師	6人～15人 / 2分 * 242日 ≒ 80 h	看護部 事務局 医師事務 薬剤部
発熱外来の実施	継続的な取組	発熱外来患者の検体採取・説明		外来看護師	10人～15人 / 10分 * 242日 ≒ 500h	看護部
	継続的な取組	発熱患者事務受付・電話対応		事務・外来看護師	5分 / 10～15件 * 242日 ≒ 250 h	看護部
	継続的な取組	発熱外来担当看護師増員		外来看護師	担当看護師2人で対応10人～15人 / 10分	看護部
静脈採血等の実施	継続的な取組	外来患者静脈採血		外来看護師	150人 / 日 3分 前年度の増員体制を維持	看護部
	継続的な取組	外来採血専属看護師増員 8時～14時勤務		看護師	150人 / 日 3分	看護部
	継続的な取組	検体搬送 患者搬送		外来看護助手	検体搬送時間3分（検体数により 所要時間不明）	看護部

入院の説明の実施	継続的な取組	入院案内	外来全医師／看護師	750時間/年間(3,000件×15分として)	医事課
	継続的な取組	センター導入疾患実施 パンフレット説明、必要物品説明	外来看護師と事務	21分×2200件 =770時間	入院患者サポートセンター
	継続的な取組	上記に追加 リリース説明、COVID対策説明	外来看護師と事務	上記に含む	入院患者サポートセンター
検査手順の説明の実施	継続的な取組	DVDによる説明（大腸F）	外来看護師		看護部
	継続的な取組	ポリペク検査：前処置説明 検査説明：感染症・MR・造影 検査他	外来看護師 看護補助者	ポリペク：8分×350件 =47時間 検査説明：4分×1200件 =80時間	入院患者サポートセンター
服薬指導	継続的な取組	薬剤管理指導業務の継続	医師、病棟看護師	500時間(年) /10000件(3分)	薬剤部
	継続的な取組	薬剤師外来の継続 (患者サポートセンター)	医師	83時間(年) /500件(10分)	薬剤部
	継続的な取組	薬剤師外来の継続 (外来癌指導、レジメン修正)	医師、外来看護師	33時間(年) /400人(5分)	薬剤部
地域連携の強化	継続的な取組	連携医療機関・施設への訪問	医師	40件	地域医療連携室
	継続的な取組	紹介患者の返書(診療情報提供書)作成確認 と医師への依頼	医師	1068時間/年 外来→確認 8000件(3分) 付録 100件(8分)	地域医療連携室
退院支援	継続的な取組	ICやカンファレンスの設定 (日時調整・場所設定など)	医師・看護師	87時間/年 520件×10分	地域医療連携室
	継続的な取組	IC後の患者・家族への意思決定支援	医師・看護師	175時間/年 350件×30分	地域医療連携室
	継続的な取組	紹介元を含む連携医療機関・施設との連絡連携	医師・看護師	350時間 1400件×15分	地域医療連携室

その他	継続的な取組	リハビリ開始時に医師が作成し患者へ説明するリハビリ実施計画の作成と患者への説明の補助	医師	1800件 (390時間) 13分/件で計算	リハビリ
	継続的な取組	書類作成支援	医師	6600件(2000時間) / 年	医師事務作業補助者
	継続的な取組	カンファレンス等設営	内科医師	8時間 / 年	医師事務作業補助者
	継続的な取組	透析回診記録代行入力	内科医師	1850件 / 月 300時間 / 年	医師事務作業補助者
	継続的な取組	特食病名登録	医師	120件(4時間) / 年	医師事務作業補助者
	継続的な取組	リハビリ回診記録代行入力	整形外科医師	3,500件(58時間) / 年	医師事務作業補助者
	継続的な取組	健診検査オーダー代行入力	内科医師	600件(110時間) / 年	医師事務作業補助者
	継続的な取組	外来支援(内科)	内科医師	10時間 / 月	医師事務作業補助者
	継続的な取組	外来支援(整形外科)	整形外科医師	12時間 / 月	医師事務作業補助者
	継続的な取組	統計データ出力	医師	80時間 / 年	医事課電算管理室
	継続的な取組	クリニカルパス促進	医師	10種類追加 / 年(10分/件 × 症例数)	クリニカルパス委員会
	継続的な取組	書類作成支援	医師	2340件 / 900時間	医事課
	継続的な取組	公費制度説明	医師・看護師	700件 / 58時間	医事課
	継続的な取組	診察予約変更調整	医師	5000件 / 250時間	医事課

	継続的な取組	コロナ電話処方調整 今後減少していくことを想定	医師	1000件/83時間	医事課
	継続的な取組	がん登録システム入力 院内がん登録提出 全国がん登録提出	医師	30分 × 780件 = 390時間	医療情報管理室
	継続的な取組	がん登録ケースファインディング	医師	5分 × 3120件 = 260時間	医療情報管理室
	継続的な取組	脳卒中患者届出票作成・提出	医師	20分 × 100件 = 33時間	医療情報管理室
	継続的な取組	救急医療管理加算の区分選択とコメント の仮作成	医師	3,300人 × 1件15分 = 825時間/	医事課
	継続的な取組	経管栄養や栄養輸液の選択を行い、推奨 栄養量到達までのプランニング及び変更 入力を行う	医師	20件/月 * 10分 (≒3時間20分)	栄養科
	継続的な取組	入院時病名や既往病名に合わせた食事開 始時のオーダー変更及び入力	医師	70件/月 * 3分 (≒3時間30分)	栄養科
	継続的な取組	栄養指導予約（初回 次回再 当日）・ 変更入力（日時 指導内容）	医師	20件/月 * 5分 (≒1時間40分)	栄養科
	継続的な取組	MAによる外科系OP前検査 指示・他科受診オーダー	外科系外来医師	11分 × 820件 = 150時間	入院患者サポートセンター
	継続的な取組	MA（看護師）による退院マリ記載補助 対象医師の拡大（委員会の指示の元）	医師	退院マリ記載補助 20分 × 100件 = 33時間	入院患者サポートセンター
	継続的な取組	MA（看護師）による 外来支援・代行オーダー（3医師）→状況に 応じて支援対象科・医師拡大（委員会の 指示の元）	医師	外来支援・代行オーダー 100時間/年	入院患者サポートセンター

	継続的な取組	新規パス作成の協力	医師	10疾患 (1疾患10分×件数) 25時間	入院患者サポ-トセンター
	継続的な取組	薬剤師介入のない、センター導入患者への薬剤確認(内科系)	医師 薬剤師	8分×850件 =113時間	入院患者サポ-トセンター
	継続的な取組	CTガイド下生検の操作補助	医師	1件/月 2時間	放射線科
	継続的な取組	遠隔読影の依頼作業	医師	550件/月 9時間	放射線科
	継続的な取組	循環器内科入院患者対象のプロトコルに基づいた業務代行の実施	循環器内科医師	116時間(年)/1400件(5分)	薬剤部
	継続的な取組	泌尿器科入院患者対象のプロトコルに基づいた業務代行の実施	泌尿器科医師	45時間(年)/550件(5分)	薬剤部
	新たな取組	耳鼻科入院患者対象のプロトコルに基づいた業務代行の実施	耳鼻科医師	25時間/300件(5分)	薬剤部

### イ 医師の勤務体制等にかかる取組み

(※この計画には次に掲げる項目のうち少なくとも2項目以上を含んでいること)

項目	列1	具体的な取組み内容(業務)	列2	対象(職種)	見込件数(軽減時間)	列3
勤務計画、連続当直を行わない勤務体制の実施	継続的な取組	連続当直を行わない勤務体制の継続運用及び非常勤医師による日当直の支援	医師	連続当直を無くすよう周知を図る。	診療部	

前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保（勤務インターバル）	継続的な取組	所属長への休憩時間確保の周知徹底	医師	医師の労働時間短縮計画策定に向けた勤務インターバル確保の周知を図るため、研修会を行う。	診療部
	新たな取組	事務部によるタイムカードの再点検に基づくインターバル確保状況調査と改善策の検討	医師	システムを活用し実態把握に努め、抑制につなげる。	診療部 総務課
予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	継続的な取組	予定手術前日目の当直を行わない勤務体制の検討及び非常勤医師による当直・夜勤の支援	医師	体制確保のための検討を進めるとともに、各医師の意識付けを図る。	診療部
当直翌日の業務内容に対する配慮	継続的な取組	当直明けの休暇の取得促進	医師	所属長を通じ取得を促し、年次有給休暇の取得率向上を図る。	診療部
	継続的な取組	当直翌日の勤務を行わない勤務体制の検討及び非常勤医師による業務の支援	医師	連続勤務、勤務インターバル確保のため、支障のない限り勤務免除を行う。	診療部
労働時間の適確な管理	新たな取組	労働と自己研鑽の区分による労働時間削減のための研修	医師	研修会を開催し意識付けを促し、前年比概ね10%程度の削減を図る。	診療部
	新たな取組	各種会議の時間内実施と内容の明確化による労働と研鑽の区別	医師	会議計画を事前に提出し、労働に該当する会議はできるかぎり勤務時間内に終わるように促す。	診療部 事務部
交替勤務制・複数主治医制の実施	継続的な取組	所属長への交代勤務制及び複数主治医制シミュレーションの検討依頼	医師	引き続き依頼	診療部
	新たな取組	複数主治医制に移行しやすい環境整備の検討	医師	働き方改革のための重要なテーマと位置づけ、検討を進める。	診療部

育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用	継続的な取組	育児介護支援に関する既存制度の周知	医師	周知を図るとともに、取得しやすい環境づくりを進め、取得率向上を図る。	診療部
--	--------	-------------------	----	------------------------------------	-----

## 2 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

項目	列1	具体的な取組み内容（業務）	列2	対象（職種）	見込件数（軽減時間）	列3
業務量の調整	時間外労働が発生しないような業務量の調整	継続的な取組	クリニカルパス導入による記録削減	看護師	新規パス件数による記録削減時間10分	看護部
		継続的な取組	病棟配属MA資格取得者による医師・看護師の代行入力	病棟クラーク	1患者2分 患者数により変動	病棟クラーク
		継続的な取組	病棟窓口による患者対応 荷物対応・患者誘導	病棟クラーク	1患者対応5分	病棟クラーク
看護職員と多職種との業務分担	薬剤師	継続的な取組	病棟での薬剤管理業務	医師・病棟看護師	10000時間/年	薬剤部
		継続的な取組	薬剤に関する相談応需	医師・病棟看護師	20時間(年) /120件 (10分)	薬剤部
		継続的な取組	せん妄アセスメントの補助	病棟看護師	375時間 (年) /4500件(5分)	薬剤部
		継続的な取組	外来予約注射の調剤	外来看護師	150時間 (年)/3000件 (3分)	薬剤部
	リハビリ職種	継続的な取組	リハビリ室への患者の送迎 (回復期リハ病棟の土日祝日)	看護師、看護助手	5500件(916時間) 40件/日 10分/件で計算	リハビリ
		継続的な取組	回復期リハ病棟患者退院時体重測定および入力作業	看護師、看護助手	260件 (21.6時間) 5分/件で計算	リハビリ
		継続的な取組	・1-4 新生児室：新生児 ABI検査	看護師	100件/年 10件/月 30分/件	臨床検査科

		継続的な取組	・病棟：入院患者 出血時間検査	看護師	60→30件/年 5→3件/月 15分/件	臨床検査科
	臨床工学技士	継続的な取組	①手術室1名常駐し、看護業務である直接介助業務の実行 ②腎センター、カテ室での準備から患者管理の実施	看護師	①週40時間 ②腎センター7名 カテ室2名	臨床工学科
		新たな取組	①大腸カメラ室のファイバー準備とメンテナンス業務の追加 ②内視鏡治療業務の追加 ESD、EMR等の内視鏡治療にCEが介助	①医師・看護師 ②医師・看護師	①10分毎日 ②2時間	臨床工学科
	管理栄養士	継続的な取組	医師の指示のもと患者情報や臨床状態に合わせて食事変更を行う	看護師	180件/月*5分 (≒15時間)	栄養科
		継続的な取組	クリニカルパス促進	病棟看護師	10種類追加/年(20分/1日あたり×日数×症例数)	クリニカルパス委員会
		継続的な取組	問診・問診入力、パス説明、弾性 stockings サイズ測定、R訓練、認知聞き取り、転倒リスク・褥瘡有無聞き取り、臍処置説明等	病棟看護師	45分×2200件=1650時間	入院患者サポートセンター
		継続的な取組	センター導入疾患を増やす	病棟看護師	5疾患 45分×50件=38時間	入院患者サポートセンター
		継続的な取組	MRI造影検査後の抜針作業	看護師	30件/月 2.5時間	放射線科
		継続的な取組	実施ケアのスケジュール入力	看護助手	回りハ/地域包括：2分×42人 急性期：2分×35名	看護部

	看護助手の夜間配置	継続的な取組	看護助手の深夜勤務	看護助手	深夜勤務実施1人/日 (1-3,1-4, 3西以外)	看護部
		継続的な取組	看護助手の準夜深夜連続勤務	看護助手	3回/月/3人	看護部
短時間正規雇用の看護職員の活用	短時間正規雇用の看護職員の配置	継続的な取組	①会計年度任用職員、再任用、部分休業取得看護師の病棟配置 ②病棟配属看護師の夜勤実施	看護師	①時間外労働時間 10時間以内 ②2回/月の夜勤実施にて夜勤時間 0.8時間短縮	看護部
		継続的な取組	業務内容の再検討および時間調整による勤務時間の多様性	看護師	時間外労働時間10時間以内	看護部
		継続的な取組	会計年度任用職員の勤務時間統一	看護師	就業時間の統一	看護部・人事部
多様な勤務形態の導入	多様な勤務形態の導入	継続的な取組	2交代・3交代勤務の選択	看護師	平均夜勤日数 8回/月以内	看護部
		継続的な取組	多様な勤務シフトによる超過勤務回避	看護師	時間外労働時間10時間以内	看護部
妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	院内保育所	継続的な取組	土曜保育の実施	医師・看護師	保育体制に応じた件数の受け入れ	看護部
		継続的な取組	病児保育の実施	病児保育担当看護師	当番3人/日受け入れ	看護部・総務課
	夜間保育の実施	継続的な取組	17時から1時30分までの夜間保育	医師・看護師	最少人数2名にて実施	看護部
		継続的な取組	上記継続のための保育士増員		保育士1名	看護部・総務課

	夜勤の減免制度	継続的な取組	本人の意向に沿った配慮	看護師		看護部
	休日勤務の制限制度	継続的な取組	休日勤務制限（病棟勤務職員）	看護師	8回～12回／月	看護部
	半日・時間単位休暇制度	継続的な取組	取得しやすい環境づくり	看護師		看護部
	所定労働時間の短縮	継続的な取組	就学前まで部分休業制度	看護師	部分休業申請 0時間～2時間	看護部
	他部署等への配置転換	継続的な取組	働き方状況により外来勤務・病棟勤務選択	看護師		看護部
		継続的な取組	時間内に業務終了できるように配置転換検討	看護師	時間外勤務時間0時間	看護部
夜勤負担の軽減	夜勤従事者の増員	継続的な取組	業務内容および時間調整による勤務時間の多様性の検討	看護師		看護部
		継続的な取組	夜勤専従看護師増員	看護師		看護部
	月の夜勤回数の上限設定	継続的な取組	月夜勤回数を減らす	看護師	全体：9回以下	看護部
		継続的な取組	夜勤看護師の増員 新規採用者・部分休業取得者の病棟配置	看護師	多様な勤務体制	看護部